令和５年度　技術科　１年　年間指導計画・評価計画

＜１＞ 教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ，ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して，技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

＜２＞ 各学年・各分野の目標

１．生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。

２．生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。

３．よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

＜３＞ 評価の観点及びその趣旨

知識及び技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなど，課題を解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

＜４＞ 観点別評価の評価基準と評定

観点別評価基準	A	十分に満足できる状況である。（８０％以上）
	B	おおむね満足できる状況である。（５０％以上）
	C	努力を要する状況である。（５０％未満）

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。（９０％以上）
	4	十分満足できる状況である。（８０％以上）
	3	おおむね満足できる状況である。（５０％以上）
	2	努力を要する状況である。（５０％未満）
	1	一層努力を要する状況である。（２０％未満）

＜５＞ 指導上の配慮事項

①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定

②言語活動の充実

③ICT機器の活用

④個に応じた指導

技術科　１学年　年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点 知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6 7	技術分野の学習を始めよう。 ４時間 材料と加工法 ５時間	・技術の発達によって、生活や産業がどのように変化してきたかを調べる。 ・技術の発達とエネルギー利用の変化について調べる。 ・3学年間の技術の学習内容を知る。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術についてしらべる。 ・木材、金属、プラスチックの特徴を調べ、発表する。 ・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。 ・部品の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 ・工具や機器を安全に使用する方法や技術室の安全のための決まりを調べる。	材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法について指摘できる。 材料に適した切断、切削などの方法について指摘できる	調べ方をいろいろ工夫している。	技術が果たしている役割に関心を示している。
8 9 10 11	製作品の設計・製作 ２０時間	・使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、構想図を書く。 ・設計の手順を確認する。 ・構想図をもとに部品表を作成する。 ・材料を準備する。 ・製品にかかるコストや省資源の視点から、構想図などを点検し評価する。【言】 ・製作工程表を作成する。 ・使用材料ごとのけがき方と使用工具を調べる。 ・仕上がり寸法線と切断線をけがく。	製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などで書き表すことができる。	製作品やその構成部品の形状と寸法などを適切に決定している。	省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 新しい発想を生み出し活用しようとしている。

12		・使用材料ごとの正確な切断方法を調べ、切断線にしたがって切断する。 ・寸法線にしたがって図面どおりに加工する。 ・検査修正し、仮組み立てをする。 ・組み立てをして、検査と修正をする。 ・製品の材質や使用目的にあった仕上げ方法を調べる。 ・素材や用途にあった塗装や表面処理をする。 ・製作品の評価をする。 ・材料と加工の技術を適切に評価・活用するための活動を考える。	切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。 製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができる。	材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について説明できる。	
1	コンピュータのしくみと基本操作 ５時間 ネットワークと情報セキュリティ ８時間	1）コンピュータの構成 2）コンピュータの起動と終了 3）マウスとキーボードの操作 4）文書の作成と保存 1）ネットワークの安全性と危険性 2）情報モラル 3）人権や個人情報保護 4）知的財産・著作権の保護	各装置の役割について、正しく理解できるか。 正しく起動､終了する事が出来る。 マウスの操作の違いを理解できるか。 情報の正しい防犯対策が理解できる。 人権・プライバシー・肖像権個人情報の保護ができる。	ｿﾌﾄｳｪｱを起動する事が出来るか。 情報の正しい防犯対策が理解できる。 ネットワーク上にあるものには、知的財産・著作権があることを理解する。	各種の文字を打ち分けられるか。作成した文書を適切な場所に保存できるか。 利用するとき、発信するときのモラルが理解できる。